

[登録日]令和7年1月23日

松江市美保関町美保388番地

正面外観



◆建築年代：昭和初期頃

◆構造：木造2階建

■概要

美保館別邸 月那離宮（旧定秀家）は、美保関の月名小路のほぼ中部に位置し、かつては、泊小路の現美保館付近の位置に建てられていた旅館建築を昭和初期に移築したものと伝えられています。

移築後はしばらく定秀家の住宅として使用されていましたが、令和元年に内装を改修し現在は建築当初と同じ旅館として使用されています。

正面入り口には、むくり屋根の庇^{ひさし}を設け、波紋の彫刻を施した持ち送り等を使用しており、内部の意匠も部屋境の設けられた欄間^{はごら}や1階の3畳の部屋に設けられた付書院風の嵌め殺し窓等、旅館建築らしい和風の意匠が随所に配されています。

美保関の歴史的な景観を形成する重要な建物であると同時に、昭和初期頃の旅館建築の様相を後世に伝える貴重な建物である。



むくり屋根の庇^{ひさし}



波紋の彫刻を施した持ち送り



1階内部 欄間



1階内部 嵌め殺し窓

位置図

